

## 編 集 後 記

はっきりしない梅雨空のもと、世情も不安定で、厳しい生活を強いられるこの頃ですが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

6月、「島根医学」29巻2号をお届けいたします。本号のトップには生涯教育講座として内田伸恵先生の「緩和ケアにおける放射線治療」が掲載されています。緩和医療における放射線治療で最も高頻度である対象病態は、有痛性骨転移であり、その緩解率は84.8%とされています。さらにより効果的な医療を進めるためには、多くの専門家によるチーム医療が必要と述べられており、今後の緩和医療のあり方が示唆されています。また富岡治明先生の「新規結核薬の開発」も大変興味深い論説です。結核についてはつい忘れがちになりますが、改めて日常診療の中で念頭におくべき疾患であること、また結核薬の最近情報把握の重要性を再認識した次第でした。

総説として泉信夫先生の「変異遺伝子による言語習得前難聴」が掲載されています。新生児難聴スクリーニングが前進し、言語習得前難聴の過半数に遺伝子が関わるということが明らかにされており、小児医療の新しい分野として、念頭におくべき問題と考えられます。泉先生には毎回小児医療の最近の話題をまとめて頂いており、島根大学の生涯教育講座とともに、「島根医学」には欠かせないものとなっています。今後ともよろしくお願い致します。

そのほか会員の諸先生から6篇のご投稿を頂きました。このところ会員からの投稿が少なく、「島根医学」も活気を失っているように思います。日常診療の中での経験が、気軽に発表できる場として、本誌が活用されることを熱望し、会員からの活発なご投稿をお待ちしています。

(N)

## 島根医学編集委員

沖田 瑛一，西野 泰生，錦 織 優，伊藤 是 衛，葛尾 信 弘，  
岩本 正 敬，児玉 和 夫，益田 順 一，信太 秀 夫，佐藤 比 登 美，  
小林 祥 泰，中山 健 吾，徳 島 武

島 根 医 学

平成21年6月30日発行

発行者	島 根 県 医 師 会
	浜田市蛭子町
編 集	編集者 沖 田 瑛 一
発行所	松江市学園南2丁目3番11号 有限会社 松 陽 印 刷 所